

嵐電（京福電鉄嵐山線）嵐山駅のリニューアルについて

京都・四条大宮と嵯峨・嵐山を結び、天龍寺・金閣寺・龍安寺・御室仁和寺の4つの世界文化遺産を沿線に有する嵐電（京福電鉄嵐山線）を経営する京福電気鉄道株式会社（本社：京都市中京区、社長：西田寛）は、平成23年12月より同社嵐山駅ビル及び各施設の改修工事を実施してきましたが、この3月15日（金）、嵐山駅（ホーム、駅窓口など）の整備が完了、お客様にご利用いただけるはこびとなりましたので、ご案内いたします。

■嵐電「嵐山駅」概要

所在地：京都市右京区嵯峨天龍寺造路町20-2

構造：地上駅。頭端式ホーム（3面3線）

乗降人員：年間約1,060千人

■嵐山駅リニューアルオープン日

平成25年3月15日（金）始発より

■リニューアルのテーマ

「安全で、お客様が使いやすい駅づくり」

■リニューアルの概要

1. ホーム・上屋の整備

- ・ホームの嵩（かさ）上げを行い、電車との段差を緩和。
- ・ホーム面も全体のつぎはぎ・がたつきを無くし、点字誘導タイルを全ホームに設置。バリアフリー基準に適合するよう整備。
- ・降雨時等、お客様が濡れないよう、ホーム上屋の新設・延長を実施。
- ・ホームの照明には、全てLEDの灯器を使用し環境に配慮します。

2. 高機能券売機の導入

- ・嵐電初の、「高額紙幣対応」、「タッチパネル式」、「企画乗車券発売機能」、「多言語（8ヶ国語）対応」を備えた券売機の導入。
（ご不便をおかけしていた高額紙幣の両替や、インバウンドのお客様への対応、窓口で並ばなくてもフリーきっぷが購入可能となる等、利便性が格段に向上します）

3. ホーム内案内表示の改善

- ・42インチ液晶ディスプレイを中央ホーム頭上に設置、よりタイムリーでわかりやすい情報をお客様へご提供。

4. 駅サービス機能の向上

- ・従来の駅務室とインフォメーションコーナーを統合、より充実した駅サービスを実現。
- ・駅窓口の営業時間を、駅ビル店舗の営業時間と統合
《駅窓口営業時間》9：00～20：00（通常期。駅ビル店舗の営業時間に連動）

5. 駅トイレの全面改修

- ・ホームとコンコースに分断されていたトイレをコンコースに集約、老朽化していたホーム上のトイレは廃止、コンコース女性用トイレはブースを2倍に拡充。

6. 「嵐山温泉『駅の足湯』」の整備

- ・足湯からお楽しみいただける景観を広げるための改修、設備改修の実施。

■「改札口のない駅」

嵐山のまちと嵐電を仕切っていた改札口ゲートを撤去。

駅施設を「電停のあるまち」ととらえ、どなたでも自由に行き来ができ、どこからでもお入りいただける構造としました。

嵯峨・嵐山地域とともに、また、『沿線や近隣の皆様とともに生きていく』という、嵐電の基本姿勢を表現した、新しい駅の姿です。

■嵐山駅リニューアル事業の全貌

現在、駅の周囲では、新しい施設の建築が急ピッチで進められています。

今回の駅構内の整備に加え、周辺にベンチや遊歩道、公園、ショップ、更には京都・嵐山を象徴するオブジェを配置することで、嵯峨・嵐山を彩るランドマークとして「駅」から「まち」へ生まれ変わります。

計画・概要が確定次第、都度、皆様にお知らせしてまいります。

今後、段階的にオープンしていく「嵐山駅」にご期待下さい。

以 上

(ご参考 嵐電「嵐山駅」の歴史)

1910 (明治43)年	3月25日	嵐山電車軌道により四条大宮～嵐山間開業
1918 (大正7)年	4月2日	京都電燈株式会社が嵐山電車軌道を合併
1942 (昭和17)年	3月2日	配電統制令により京都電燈から電鉄部門分離、京福電気鉄道株式会社設立
1974 (昭和49)年	10月1日	嵐山駅ビル・嵐山電鉄課技術棟竣工 (嵐山レディースホテルオープン)
2002 (平成14)年	10月26日	嵐山駅ビル全面リニューアル (「嵐山駅はんなり・ほっこりスクエア」オープン) 嵐山駅事務所・改札口・コンコースのリニューアル
2003 (平成15)年	10月13日	嵐山駅「近畿の駅百選」認定
2004 (平成16)年	9月18日	嵐山駅ホーム内に「嵐山温泉『駅の足湯』」オープン
2010 (平成22)年	3月25日	嵐電開業100周年
2013 (平成25)年	3月15日	嵐山駅リニューアル